

1. 一般事項

(1) 施工数量

ビニル床長尺シート		室、廊下	m ²
ビニル床タイル		室、 室、 室	m ²
		室、	m ²
		室、	
ソフト巾木	H = (室、	m

(2) 施工条件

1) 設計仕様

材 料 名		様	備 考
ビニル床タイル	ホ:	nm	
ビニル床シート		厚 2 . 5mm	溶接工法
			突付け工法
ソフト巾木	厚	n	

2) 要求品質

- 浮き, 剥離のないこと
- 平滑であること
- 色むら, よごれのないこと
- 耐久性のあること
- VOC 基準に適合していること

3) 施工目標

- 浮き率 : 全仕上げ面積 3%以下
- 平滑度 : 2m で 2mm 以下
- よごれ, 色むら : 目立ったよごれがない

上記目標を達成するため, 下地コンクリートモノリシック仕上げの品質は以下とする。

4) 要求される品質とそれを左右する要素 (参考)

品質を左右する要素 (施工品質)	下地					接着剤				仕上げ材			環境		施工方法	
	強度	面精度	清掃状況	含水量	ひびわれ	種類	オーブント	使用量	保管方法	ロット統一	メーカー	材種	温湿度	換気	方法	ローラー押え
要求品質																
浮き, はく離がない																
平滑である																
色むらがない																
目地よごれがない																
目地の通りがよい																
爆発・火災を生じない																

5) 施工前の確認事項

表面強度	ら, 削りキズができない。レイタンスが
面精度	
清掃状況	気掃除機, または“おが屑”を撒いて清
含水率	気抵抗計で 3000Ω 以上
ひびわれ	ひびわれはエポキシ注入の後, サンダー
打継ぎ部, 塗継ぎ部の目違い	がない
ドア下のクリアランス	3mm 以上あること
壁と床との取合い	直角であること, 水平であること

(3) 専門工事業者の施工体制

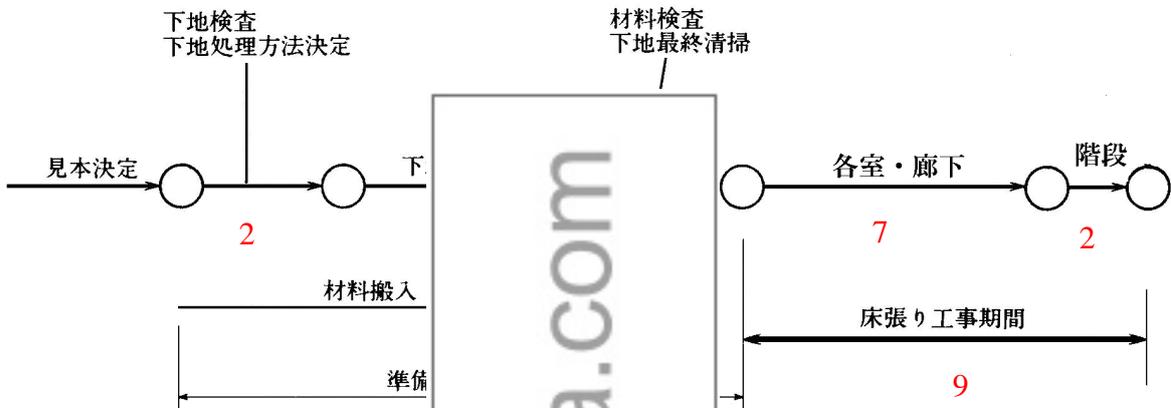


(4) 工 程

1) 打合せ時の工程

		10 月		
		10	20	30
ケレン・清掃	—			
長尺シート張り	□			
Pタイル貼り				
ソフト幅木			—	

2) 実施工程



3) 配員計画 (施工日数)

床張り面積 = 1,860 m²

1人当り平均施工面積 / 8

$1,860 / 80 = 26.25$

19日

4) 施工順序および作業日程

- ・ 月 日から入場し、
- ・ 翌日より本作業に入り 2 F C
- ・ 1階は最後とする。

を行う。

上階 (各室) へと進めて行く。

(5) 材料の搬入と運搬

1) 搬入方法

- ・ 材料は 4tトラックまたは 4
- ・ 新築建物の正面玄関横に指
- ・ 荷降ろし時に、材料の種類
- ・ 建物内への運搬は台車 (業

。

、製造年月、ロット番号を確認する。

2) 荷揚げ方法

- ・ 各階への揚重は本設エレベーター (仮設使用) を利用する。
- ・ 水平運搬は人力運搬または台車を利用する。
- ・ 予定した数量を各階 EV ホールに一時荷降ろしし、各階への荷揚げ終了後、保管場所 (各階) に保管する。

材 料	等 級	備 考
接着剤	F	日本接着剤工業会「室内空気質汚染対策のための自主管理規定」に基づく等級（JIS と同等）証明・表示および検索
	F	
	F	
	無等級	

シックハウス対策の技術基準。

ホルムアルデヒドの 発散速度（*1）	JIS,JAF
0.005mg / m ² h 以下	F

*1 測定条件：温度 28℃，相対湿度 50%

接着剤の種別と施工箇所

施 工 箇 所
一般床
地下の最下階・玄関ホール・湯室・便所・洗面所・防湿層のない土間・貯水層・浴室の直上床及び脱衣室など施工後湿気や水の影響を受けやすい箇所・耐動荷重床シートの場合・床暖房の場合 化学実験室等
垂直面

https://www.sekouya.com

受けた	内装の仕上げの 制限
の 5 第 4 項の認	制限なし

ホルムアルデヒド濃度 0.1mg / m³ (= 指針値)

東りの場合	
系	エコロイヤルセメント・ エコ AR100・エコ AR200・ エコ AR300・ エコ GA セメント・ ゴーセイ F
系	US セメント・ 低臭 US セメント・ US100・ エポグレー P・ エポグレー ST・ エポグレー S
系	CR セメント・ クリアス巾木糊・ 巾木糊

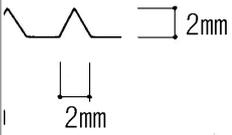
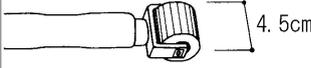
ビニル床シートの接着剤の種別と施工箇所

施 工 箇 所	種 別
共用廊下、玄関、便所、洗面所、脱衣室、台所、その他湿気の生じやすい箇所	エポキシ樹脂系、ウレタン樹脂系
上記以外の箇所、ただし、合成ゴム系及びアクリル樹脂系は垂直面には用いてはならない	ビニル共重合樹脂系、酢酸ビニル樹脂系、合成ゴム系、アクリル樹脂系、ウレタン樹脂系

	脂系
--	----

3. 施工

(1) 使用器具

くし目ごて		
ハンドローラー ローラー	張り付け (重さ) 30cm	 ハンドローラー
デバイダー		
トーチランプ		

(2) 施工前の確認事項

1) 乾燥度合いの確認

含水率 8%以下, または電
 接着工法による床材では, 7
 時にともなって剥離を発生さ
 土間床, デッキプレートを用
 目安として高周波水分計を併

し, 施工時に一度接着したものでも, 経
 注意を要する。場合によっては, 水分の
 効果は期待できないことが多い。

2) 現実的な目安としては,

- a. モルタルでは 14 日, コンクリートでは 28 日以上経過していること。
- b. 雨水, 結露による水濡れの有無
- c. 下地面を不透湿フィルム(ポリエチレン, アルミ箔など)で覆い水滴の発生状況で判断する。
- d. その結果に応じて除湿, 採暖あるいは通風を図るなどして乾燥させる。

https://www.sekouya.com

3) 下地確認

施工に先だち、計画書「前工程品質」どおりの下地となっているか点検する。点検後、著しい不都合と判定された場合、係貞と協議し以下の要領にて下地補修を行う。ただし、補修費は、本工事とは別途とする。

(下地処理方法

a. 表面強度不足

- ・釘頭でひっかいて 1mm 地補修
- ・釘頭でひっかいて 1mm

.....削りとり後、速乾性下地補修材で下

補強プライマー塗布

b. 面精度不良

- ・速乾性下地補修材、ま

材で補修

c. 乾燥不良

- ・大型除湿機で乾燥を促進
- ・協議のうえ、張付け工

d. ひびわれ

- ・エポキシ樹脂注入の上

e. 清掃不良

- ・湿らせた“おが屑”を掛

吸引力の強い電気掃除機で清掃する。

f. 壁，床取合い部（キリツ

- ・タガネで取合い凸部を削り取る。

- ・レベル精度不良の場合は、速乾性下地補修材で不陸修正する。

4) 材料確認

作業着手前日までに次の事項を確認する。

a. 仕様どおりの材料であるか。

- b. 手配どおりの色番号であるか。
- c. 施工現場を実測し、必要数量の床材と接着剤が入っているか。
- d. 手配どおりの寸法の材料か。
- e. 搬入時に欠損した材料はないか。
- f. 製造年月日、ロット番号が揃っているか。

5) 作業環境確認

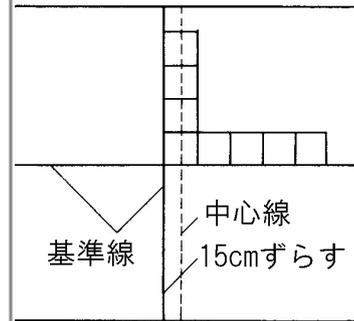
- a. 気温.....工場の
- b. 通風（換気）状況.....必要
- c. 日光の直射.....直射

用)の可使用時間設定のために必要。
 注意を申出る。
 ため、カーテンなどの措置が必要。

(3) 墨出し（割付け）

- a. 床タイルの割付けは、相対する
 するようにする。
 一度床タイルを並べてみて
 は、下図のように床タイル

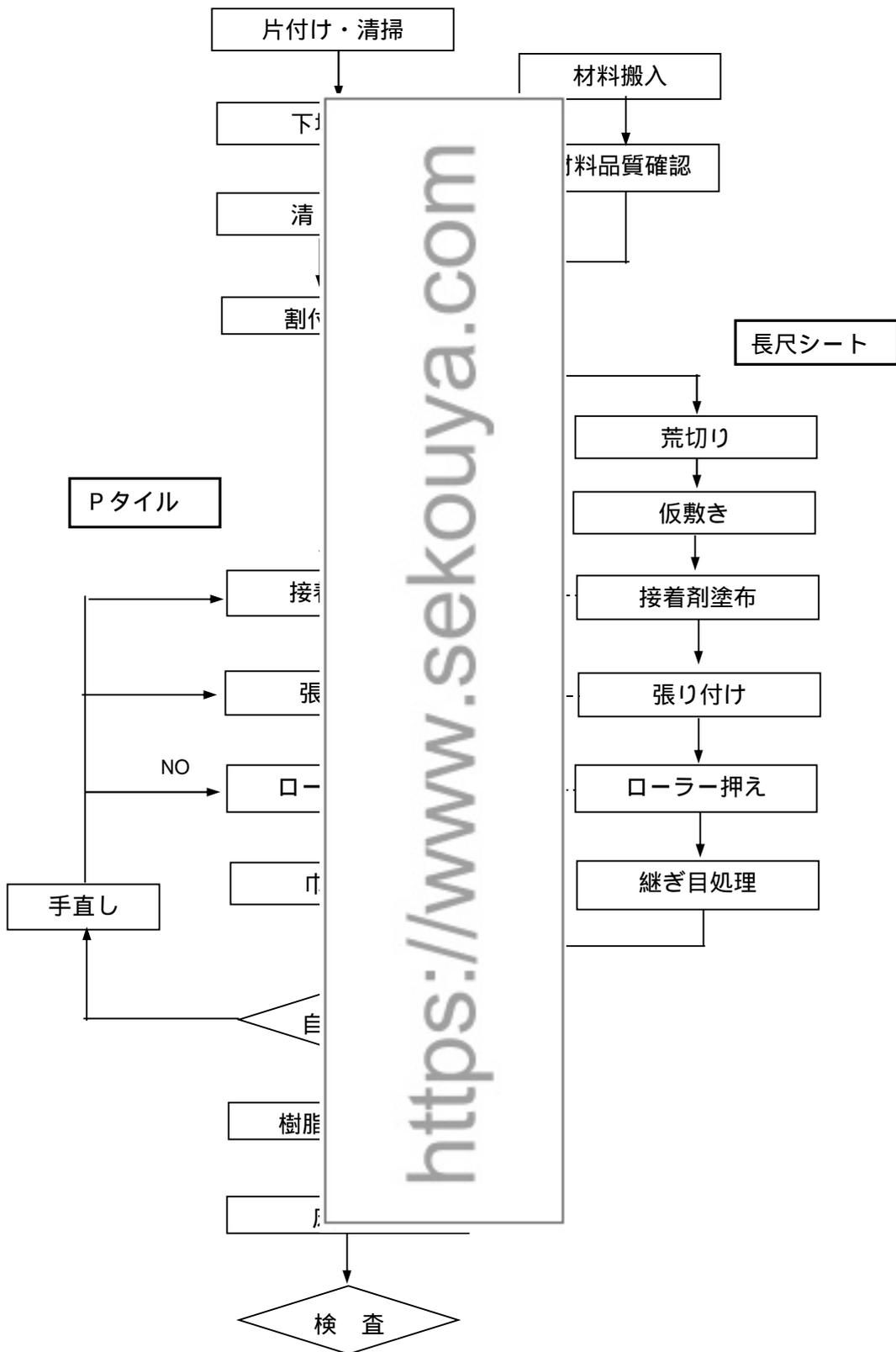
タイルの1/2以上の大きさのものが入
 タイルの半枚分以下（15cm以下）のとき



- b. 床シートの割付けは、材料
- c. 割付け確認後、張出し墨を

とする。

(4) ビニル系床施工フローチャート



(5) ビニル床タイル張り

1) 割付墨出し

仕上げ材の割付図または指示のデザインに従い、基準線を起こし壁ぎわ・出入口・柱付きなどの納まりを検討して床仕上げの貼り出し墨を出す。

2) 接着剤塗布

- ・張出し墨を消さないように用
 - ・一回の塗布面積は可使時間
 - ・オーバータイムは、接着不能
 - ・壁ぎわの塗布は、3mm 以上
 - ・室温が 10 以下の場合は速
 - ・エポキシ樹脂接着剤は、所定
- し十分攪拌する。

いてメーカー指定量を均一に塗布する。
(の 50 分間) に張上がる部分とする。
注意する。
い。

量して、混合容器に入れ、混練機を使用

3) 床Pタイル張り

- ・施工時の気温、通風を考慮し
- る
- ・オープンタイム及び可使時間
- ・接着剤塗布後、所定のオー
- ・貼出し墨から張りはじめ、目
- う) に、手またはハンドロ
- ・目地内に接着剤が入り込ま
- ・壁ぎわは壁面と隙間のないよ

タイム以内で張れる面積に接着剤を塗布す

・カーの仕様に基づいて行う。

(とつきがなくなるまで) をとる。

ないよう(目地の交点が十文字になるよ
を広げる。

要領で張る。

張り、ハンドローラーでよく圧着する。

4) ローラー押え

- ・1 回の張上がり完了後、接着剤の可使時間内に 45kg ローラーで圧着する。
- ・部分的なふくれが発見された場合、千枚通しで穴をあけ、周囲から空気を押出してハンドローラーで圧着する。

(6) 長尺床シート張り

1) 荒切り

- ・割付け寸法より 3~5cm 長めに切断する。

・柄、模様の床シートの場合は、二枚目から柄合せ寸法だけ長く切断する。

2) 仮敷き

・張付け施工に先だち、巻きぐせを取除くため、一昼夜程度仮敷きを行う。

3) 張付け

・長手方向のケガキ作業が終わったら床シートの長手方向の半分を折返す。

・オープンタイム及び可使用時間は、その接着剤のメーカーの仕様に基づいて行う。

・幅方向の壁ぎわ 1m 程度、

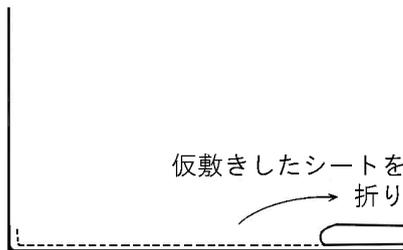
オープンタイムをとり、折返した床シ-

・残る反対側も同様に張付ける

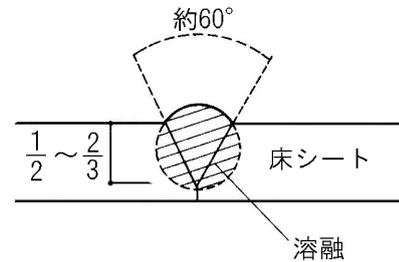
・圧着は床シートの中央より

き、接着剤を塗布し、所定のオープント
:押出す要領で張付ける。

方向に 45kg ローラーで残留空気を押出



<https://www.sekouya.com>



4) 継ぎ目処理

a. 熱溶接による接合

・継ぎ目は重ね切りする。

・床シート張付け後、完全に
2/3の深さに開先角度 60

・熱溶接機で床シートと溶接
圧をしながら溶接する。

・溶接完了後、余熱がなくな
して、仕上げ削りを行う。

・削り取った面は熱溶接機

部を電動溝切機を用いて、床シートの

両側に余盛りのビートができる程度に加

接棒の突出部(余盛り部)を一度荒切り

を行う。

b. 継ぎ目溶接液による接合

・継ぎ目は、すき間が出ない

・継ぎ目部に接着剤、油脂が

合わせ切りをする。

清掃する。

・所定の注入器で継ぎ目溶接液を均一に注入し継ぎ目溶接が硬化するまで通行を保護する。

5) 張付け後の点検

一区画の作業完了後、次の事項の点検を行う。

a. 色違い、模様の張違いはないか。

b. 目違い、目地ずれ、目地隙はないか。

- c . 突起物 , 空気だまりによるふくれはないか。
- d . 汚れ , 破損 , 損傷はないか。
- e . 出隅 , 大隅 , 柱まわりの納まりと接着はよいか。
- f . 継ぎ目処理はよいか。

6) 補修

- a . 色違い (色調違い)引
- b . 目違い 多少のずれは、
る場合は張替える。
- c . 突起物 その部分のみ
- d . ふくれ 鋭利なキリで
床シートでふくれの大き
- e . よごれ 接着剤などは
ませた布で拭きとった後

をずらし、微調整する。大きくずれてい
再度張付け、よく圧着する。
フで最小限の切れ筋を入れ空気を出す。
ルなどで早めに削り取り、中性洗剤を含

(7) ソフト巾木貼り

1) 稲妻巾木

選定されたソフト巾木を階
り場、廊下等の取り合い部
等で圧着する。

て、蹴上げ、踏面の出隅・入隅および踊
違い、すき間のないようハンドローラー

2) 各種長尺シートの巻上げ

- ・ 接着剤は仕上がり天端よ
- ・ 床シートを巻上げる場合、
たるみ、ひきつれないよ
- ・ 床シートは仕上がり天端よ
隅部は別の床シートの切
- ・ 目地、出隅・入隅部は熱
- ・ 天端は接着剤が硬化して

する。
適当な面をとってすき間が出来ないよう、
ハンドローラー等圧着し貼り上げる。
部は、すき間なく切り合わせておさめ出
切りそろえ角を折り曲げて圧着する。
て継ぎ目処理を行う。
るえる。

<https://www.sekouya.com>

4. 床工事自主検査

自主検査表によりチェックを行い、手直し箇所が発生した場合は速やかに処置を行う。

1) チェックシート

	検 査 項 目	検査基準	備 考
1	タイルの目違いはないか	目 視	
2	タイルの浮きはないか	反響音	
3	タイルの目地のずれはないか	目 視	
4	端廻りのタイルの圧着	反響音	
5	切りつけはどうか	目 視	
6	タイルの割付寸法は適	指示通り	
7	長尺シートの浮きはないか	目 視	
8	長尺シートの切りつけ	反響音	
9	長尺シートの割付寸法	目 視	
10	溶接方法は適切か	〃	
11	端廻りの長尺シートの	〃	
12	巾木の浮きはないか	〃	
13	巾木のジョイントはど	〃	
14	巾木の出隅・入隅加	〃	
15	巾木の天端の通りはど	〃	
16	巾木糊が巾木面より	〃	
17	全体の仕上げ状態はよ	〃	

<https://www.sekouya.com>

(8) ロールカーペットの施工

1) 工法

- a . ロールカーペットの敷き詰めは、接着工法、グリッパー工法が標準仕様となる。そのほかにマジックテープ工法等がる。
- b . 接着工法には、全面接着工法、部分接着工法、両面接着工法等があり、また、接着剤の種類により多様な接着工法が採用される。
- c . グリッパー工法は、アンダーグラウンド、コンクリート、タイル、フローリング等により選定することが重要である。

2) 施工手順

- a . 施工に適した下地
コンクリート仕上げ、モルタル仕上げ、タイル、フローリング等
下地は、乾燥した平滑で堅固であること、
湿気の多い場所には使用しない。
(汚れ等が発生する恐れがある)
- b . 下地の確認と調整
水分を含む材質の場合は、水分を除去し、
ホコリ、ゴミ、油分、ワックス等を除去し、
不陸がある場合は、平滑に調整し、
段差がある場合は、レベル調整を行う。
（確認する。
取り除く。）
- c . 採寸とカーペットの必要量の算出
図面及び現場実測により、
柄物は、柄リピートを考慮し、
施工に必要なロス(幅ロス、長さロス)を考慮し、
廊下や出入り口などの歩行頻度が高い場所には、
ジョイントは幅成り(両面接着工法)とする。
(極力、中央部と端部(両面接着工法)に
ジョイントがある場合は、幅成りとする。
(生産の順にカットし、幅成りとする)
ジョイントを極力小さくする)
- d . 糊の選定 (接着工法)
カーペット用のホルムアルデヒドF 対応品を使用する。
下地の種類、使用商品、使用場所(用途)により選定する。
糊は冷暗所で保管する。
(冬場は糊の凍結に注意する。凍結すると使用できなくなるので注意)

<https://www.sekouya.com>

e . 基準線 (墨出し)

歩行頻度とロスを考慮して基準線を出す。

部屋の全幅・全長を測定して、壁にできる限り平行になるよう考慮する。

f . 糊の塗布

基準線に沿って、施工する

くし目コテを使用して塗布

接着の場合は、塗布後短時間

(糊が乾燥すると接着でき

ピールアップの場合は、糊

(糊が白い状態 (未乾燥)

糊の臭いが気になる場合は

る部分のみ塗布する。

らって) からカーペットを貼る。

びれなくなる)

g . グリッパー施工とアンダー

部屋の4辺に、カーペッ

グリッパーの固定は、専用

カーペットの張力に耐える掛

グリッパーの位置は、カー

(カーペット総厚さの

アンダーレイは、グリッ

アンダーレイの施工は、音

アンダーレイは乾燥してい

ッパー工法)

ッパーを取り付ける。

を使用する。釘が使用できない床は、カ

、壁との間隔を取って施工する。

を使用する。

床に固定施工する。

h . カーペットの敷き込み

商品名 (品番) 色相 (色

カーペットのパイルは方向

(基布幅端部の色線の違い

(方向が違うと色差が発生

カーペットを広げ、巻き

カーペットは、目に沿っ

柄物でジョイントする場

部屋の全幅・全長を確認し

カーペットのジョイント

接着方式

を確認する。

を確認する。

ントがある場合は、必ず方向を合わせる。

前に、施工室内の温度に馴染ませる。

わせてカットする。

行になるように基準(墨出し)を決める。

・ジョイントがある場合は、両耳をカット (1 ~ 2 c m) し、ジョイントするカーペットを突き詰めて施工順に並べる。(修正が不可能な蛇行部は直線上にカットする)

・中央部の基準線に合わせた2枚を、それぞれ約1 / 2をめぐり (6) に従ってのりを塗布する。

・めくった2枚を元に戻し、基準線に合わせて突き詰めて施工する。(程度の軽い長さ方向の蛇行・幅方向の湾曲はニーキッカーで修正して下さい、テンションを掛けた部分は

<https://www.sekouya.com>

接着剤が乾燥するまで重石で圧着する)

- ・目に沿ってカット出来なかった箇所は、ジョイントボンド等で糸もつれ止め処理を行う。歩行量の激しい場所はジョイントボンドで処理する。
 - ・カーペットの敷き詰めが完了したら、シワ・フクレ等を修正しながら、ローラーでよく圧着する。
 - ・施工が完了した部分は、歩行禁止にする。
 - ・以降同様な作業を繰り返す。
グリッパー方式
 - ・施工済みアンダーレイ
 - ・ジョイント部の下に指
 - ・シーミングテープ用ア
 - ・溶融した部分に、カー
 - (溶融不十分な場合は)
 - ・その他は接着方式と同様
- 施工中臭いが気になる場合

3) 施工完了後の留意事項

- 施工完了後は関係者以外
 - (養生材はパイルへの汚
 - 施工後の残材等を廃棄す
 - 梱包材などを焼却する場
 - 施工後、台車・家具等の
 - 引渡し清掃の際、清掃業者
- の変色を招く。

<https://www.sekouya.com>

- カーペットを並べる。
- 敷き入れる。
- 脂を溶融する。
- き詰めて圧着し、冷却固定する。
- 、樹脂が冷却するまでは、重石をする)
- は素材特有のもの)
- ニールシート等で養生する。
- 産業廃棄物処理業者に処分を委託する。
- づいて処分する。
- 、合板等で保護する。
- こぼさないよう指導をおこなう。パイル

(9) タイルカーペットの施工

1) タイルカーペットの施工方法

タイルカーペットの標準工法は、横ズレや移動を防止するために、ピールアップボンドによる全面塗布又は、自己粘着タイプを使用する。

この、横ズレを防ぎ、縦の剥離が可能な施工方法により、OAフロア上のカバー材として、配線工事等の作業が容易にな

2) 施工手順

a. 下地床材

タイルカーペットの敷き込
ア等(アルミ・GRC・コ
水分、油分、ほこり、ゴミ
平滑に仕上げる。
段差がある場合は、出来

モルタル仕上げや、Pタイル、OAフロ
の下地が適している。
)除いて下さい。* 不陸がある場合は、
調整する。

b. 割付け

一枚のサイズ50cm角の
る。
廊下、部屋の出入口など歩
る。
壁際等に極端に小さなカ、
る。

トせずに、互換性を生かした割付けをす
場所には、交換しやすいように割付けす
基準線をずらすなど状況に応じて割付け

c. パイルの方向性と敷き方

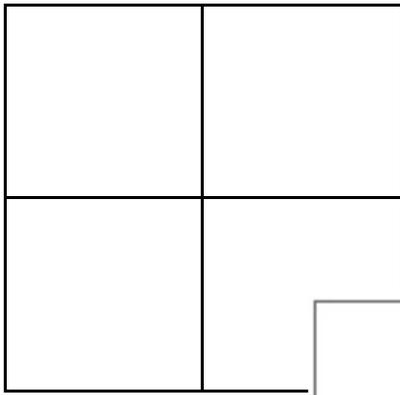
タイルカーペットに限らず
従って、パイルの方向を
この特性を使って、意図的
パイルの方向を一定にす
いずれにせよバックング
む。

には通常、方向性がある。
相が変わってしまう特性を有している。
を出したりする事も可能になる。また、
(順目流し)のようにする事も可能。
たがって、市松敷き、順目流しに敷き込

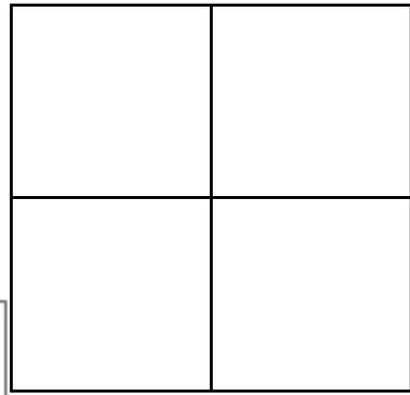
順目敷きの場合は、矢

前えて貼る。

<https://www.sekouya.com>



市松敷き



順目流し

d . 敷き込み

最初の段階でタイルが動いて、接着剤を塗ります。接着剤の塗布量により多少変わる事もあります。

下地	モルタル
接着方法	全面接着
標準塗布量	80 ~ 100 g / m ²

接着剤の白濁した色が無いように、正確にタイルを固定して施工します。以後は、段階工法を使って敷き込みには、隙間無く、OAフロアの場合、自己粘着の度合いも安定し、広い面積での施工には、隙間ないように全面接着タイプを使用する。

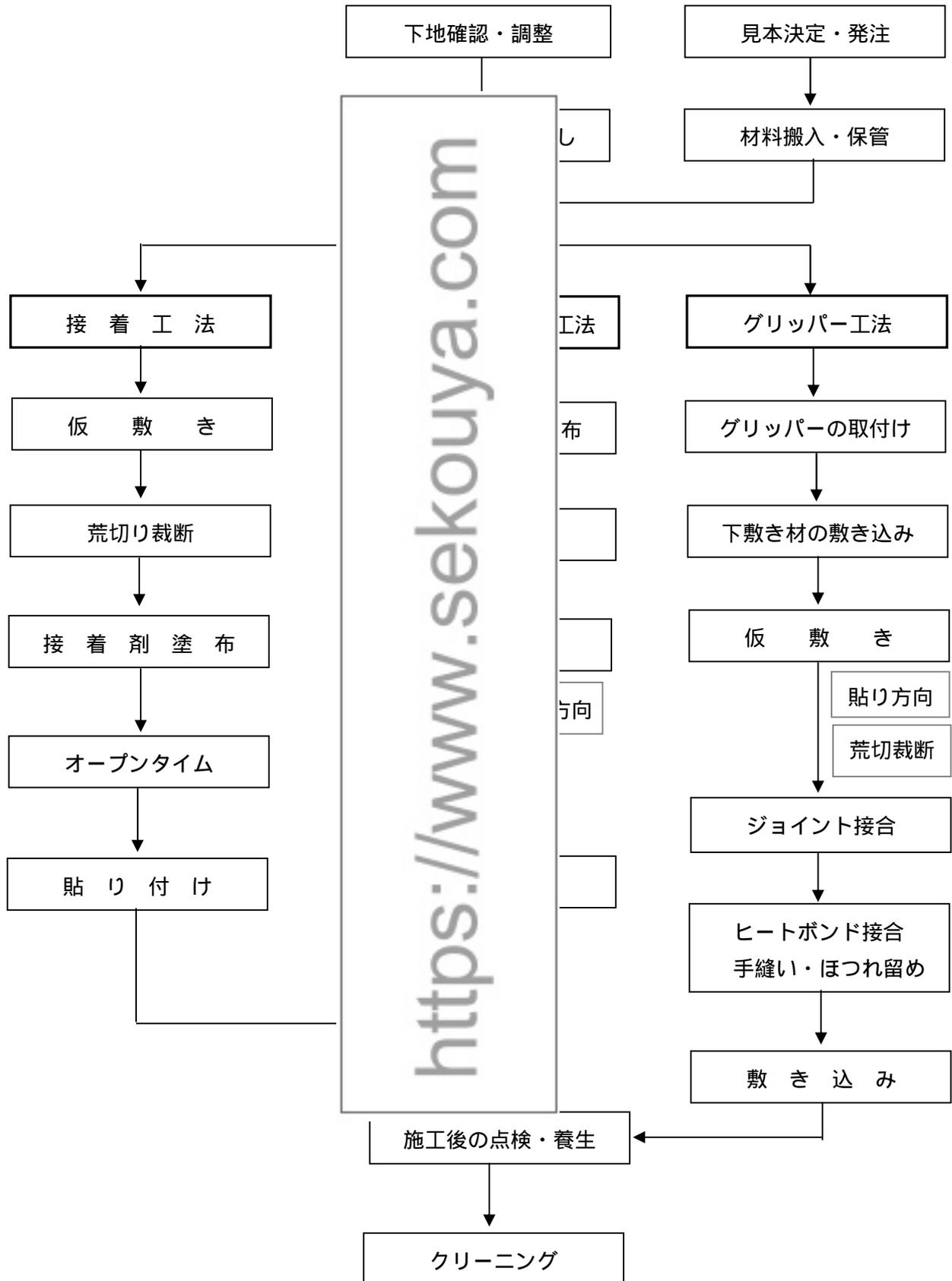
直線に、また直角にする為に基準線に沿って、下地の種類・状況、施工時の環境等に応じて、以下の表を目安にする。

タイル	OAフロア
面接着	部分接着
50 g / m ²	16 ~ 25 g / m ²

15分後)しましたら、基準線に沿ってタイルを叩きつける。ニーキッカーの使用は不要。必要であれば、接着剤の塗布が不要になり、施工も楽になり、メンテナンス上もベスト。このようにして、そして実際の使用にあたって横ズレ率を高めるために、なるべく自己粘着タイプを使用する。

<https://www.sekouya.com>

カーペット施工フローチャート



4 . 片付け・養生

1) 片付け

- a . 梱包材料，裁ち屑は，作業終了後 1F 廃材置場に集積する。
- b . 溶剤形接着剤の空き缶は，有機溶剤の蒸気が発散するおそれがあるので，1F 屋外の空き缶置場（元請作成）に集積する。
- c . 日々の作業終了時には，工事現場の床材は一箇所に整理整頓する。

2) 養生

- a . 自主検査完了後，ゼネコン作業員が行う。
- b . 検査後，主要通路には通気性のあるシートを貼る。
- c . 養生箇所は後掲の図のアメリカンで行う（アメリカンで行う）
- d . 床仕上げ上で作業をする場合は，作業場所全体にシート養生（床工事完了を表示する）
- e . 原則として，床タイル仕上げ後は養生する。週に一回ぐらいは換気する。
- f . 張付け後，直射日光が当たらないように養生する。

3) ワックスがけ

- a . 竣工引渡し直前に最終清掃を行う。
- b . 全面水拭きを行う。
- c . 乾燥後，樹脂ワックス仕上げを行う。

4) 安全事項

- a . 床ビニルタイル張り工事には，
 - ・ 工事現場は常に整理整頓し，作業員は安全ヘルメットを着用する。
 - ・ 窓のない部屋で溶剤形接着剤を使用する場合は，換気装置を設置する。
 - ・ （空気より比重が重いので天井付近に溜まりやすいため）換気装置の設置位置が適切になるようにする。
 - ・ 同上の場合，トーチランプを使用する場合は，換気装置の設置位置が適切になるようにする。
 - ・ 換気には細心の注意を払う。

- b . 有機溶剤作業主任者の選任
溶剤形接着剤による床材施工時は，有機溶剤作業主任者の有資格者が作業を管理する。

c . 有機溶剤作業上の注意

揮発性の溶剤で、蒸気を吸収すると中毒をおこすおそれがあるので取り扱いには以下の注意事項を守る。

取り扱い増所には局部排気装置を設ける。

容器から出し入れする時にはこぼれないようにする。

取り扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて防毒マスクまたは送気マスク・保護

<https://www.sekouya.com>

手袋などを着用する。

取り扱い後は手洗い、うがい、洗面を十分に行う。

一定の場所を定めて保管する。

有機溶剤作業主任者が必要な作業場には、黄色の旗をたてる。

d . 保管数量（消防法で定められていること）

溶剤形・反応形接着剤は含有
所の貯蔵限度量が溶剤の種類
ている数量以下であっても、
扱の規制を受けることがある

	規制を受
危険物第四類 第一石油類	~ 40
危険物第四類 第三石油類	~ 400
危険物第二類 引火性個体	~ 200

e . 保管場所

風通しの良い5 ~ 35 の
周囲に可燃物を置かない。

f . 有効期間の厳守

缶に記載された日付から有効
特に表示がない接着剤の有効

g . 使用残の接着剤

一旦出した接着剤は缶に戻
保管して使用することはさ

h . 施工後は換気に注意が必要

よる火災の危険性から、消防法では一ヶ
制されている。カタログなどに掲載され
る場合は、市条令によって少量危険物取
確認が必要。

令規制 (貯蔵、取り扱い)	消防法規制 (危険物貯蔵、 取り扱い)
200 リットル	200 リットル ~
2000 リットル	2000 リットル ~
100kg	1000kg ~

缶後は残さず使い切り、残った接着剤を

<https://www.sekouya.com>